

平成二十九年 度 中学校前期（午前）入学 考 査 問 題

国 語（その一）

◎ 解答は別紙の解答用紙に記入しなさい。

◎ 字数制限のある解答は、句読点や記号「 、「・、（ ） 」などを一字と数えます。

考 査 番 号

一、次の各問いに答えなさい。

問一 次の熟語は特別な読み方をします。読みをひらがなで答えなさい。

- ① 大人 ② 景色 ③ 口調 ④ 七夕 ⑤ 留守

問二 次の各組のことわざの に共通する言葉をそれぞれ答えなさい。（漢字でもひらがなでもよい）

- ① ア の振り見て我が振り直せ イ の みんとし 禪で相撲を取る
- ② ア から出たまこと イ も方便
- ③ ア 魚心あれば 心 イ 焼け石に
- ④ ア 鬼の にも涙 イ 壁に耳あり障子に あり
- ⑤ ア 言わぬが イ より団子

問三 次のそれぞれの言葉を下ののような意味にしようとすると にはどのような言葉が入るか、下の字数で答えなさい。

- ① 肝 きん が （ひらがな三字） 落ち着いていること
- ② 腹 （ひらがな三字） 相手の心中をうかがうこと
- ③ 腹 （ひらがな二字） 本心をありのままに語り合うこと
- ④ 胸 （ひらがな三字） 期待でわくわくすること
- ⑤ 胸 （ひらがな二字） 感動させること

問四 次の漢字の部首名をそれぞれあとから選び、記号で答えなさい。

- ① 術 ② 囲 ③ 頂 ④ 熱 ⑤ 都

- ア こざとへん イ はこがまえ ウ おおざと エ ぎようがまえ オ くにながまえ
- カ おおがい キ ふるとり ク あくび ケ れんが（れつか） コ まだれ

- ◎ 解答は別紙の解答用紙に記入しなさい。
◎ 字数制限のある解答は、句読点や記号「・」「()」などを一字と数えます。
◎ 設問の都合により原文を一部、改めたところがあります。

考 査 番 号

二、次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

自らが目指すリーダーシップを語るとき、若田はある言葉に強いこだわりを見せた。「和」の心。

a シュザイのたびに、若田はこの言葉を口にした。

「日本人らしい、和の心を大切にしたい。」①「ハーモニーを大切にしたい」

1 「和」のリーダーシップとは一体、どのようなリーダーシップなのか。若田に尋ねてみた。

「最初から妥協し合うのではなくて、異なる意見があってもいい。『自分はこうしたい』と自由に言い合えて、それが最終的にチームとして『こういうふうにしていこう』と、自然にまとまっていくというのが、b キュウキョクの『和』です。私が目指したいのは②『和』のチームワークであり、それを実現させるのが『和』のリーダーシップだと思っています。」

『やっぱり自分はどう思う』ということがあれば、チーム内でどんな言い合う。その上でチームとして最終的に、一つの方

向に持っていく。いろいろな意見を述べ合う機会があつて、その上でみんながわかり合えるようになるまでの③プロセスがと

ても大事だと考えています。そしてその『和』のチームワークに至るまでには、メンバーどうしのコミュニケーションを数多

く積み重ねなければならぬと思っています。」

* ISSには、国家間のパワーバランスがそのまま持ち込まれる。

2 アメリカ、ロシア、日本、ヨーロッパ、そしてカナダの宇宙開発における力関係が、それぞれの国を代表する宇

宙飛行士の立ち位置にc ハンエイされるのである。

たとえば若田と、アメリカ人宇宙飛行士、そしてロシア人宇宙飛行士の関係は、日本とアメリカ、それにロシアの三国関係

と置き換えることができる。

3 若田はチームメイト一人一人の性格をきちんと理解し、個人的な信頼関係を築くことはもちろん、それぞれが

背負う国の④立場や、日本を含む他の国との間のAも考えて指揮にあたる必要がある。

ISSで最も効果的なリーダーシップを発揮しようと思えば、国際社会、特に世界の宇宙開発における日本という国の「立

ち位置」と「力」のほどをしつかり把握し、それを踏まえた船長であらねばならない。若田が船長になったのは、彼一人だけ

の力ではなく、船長という*ポストを手繰り寄せる上で、日本の国としてのB、政治力や技術力がd フカゲツだった

からである。

今回の宇宙飛行II * ミッションのために、若田は* エンブレムを用意していた。記者会見で披露されたそのエンブレムの中

心には「和」の一字があつた。

リーダータイプではなかったという若田が選んだ「和」というテーマ。

日本という「C」を背負い、アメリカやロシアといった宇宙大国と渡り合わねばならない中、日本人ならではのリー

ダーシップを実現したい。

⑤その決意が込められていた。

(小原健右 大鐘良一『若田光一 日本人のリーダーシップ』)

* ISS …… 国際宇宙ステーション * ポスト …… 役職や地位 * ミッション …… 使命・与えられた任務
* エンブレム …… 象徴的なマーク

- ◎ 解答は別紙の解答用紙に記入しなさい。
◎ 字数制限のある解答は、句読点や記号「・」「()」などを一字と数えます。
◎ 設問の都合により原文を一部、改めたところがあります。

考 査 番 号

問一 線aとdのカタカナを漢字に直しなさい。

問二 1と3にあてはまる言葉として適当なものをそれぞれ次の中から選び、記号で答えなさい。

ア なげなら イ このため ウ しかし エ あるいは オ つまり

問三 線①「ハーモニー」、③「プロセス」を日本語で言い換えるとすれば、どういふことが適当ですか。それぞれ次の中から選び、記号で答えなさい。

①ハーモニー ア 音楽 イ 調和 ウ 指導 エ 技術
③プロセス ア 議論 イ 理解 ウ 過程 エ 相談

問四 線②「和のチームワーク」を作るために必要なこととはどういふことだと若田さんは考えていますか。本文中から「こと」に続くように、三十字以上三十五字以内でぬき出して答えなさい。

問五 線④「立場」を言い換えた言葉を本文中から四字でぬき出して答えなさい。

問六 AとCにあてはまる語を、Aは漢字三字で、B・Cは漢字一字でそれぞれ本文中からぬき出して答えなさい。

問七 線⑤「その決意が込められていた」とありますが、何に込められていたのですか。本文中から七字以内でぬき出して答えなさい。

問八 本文の見出しとして最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 多様な考えを尊重 イ 宇宙大国に勝つには
ウ アジアのリーダーとは エ 「命令」と「協調」のバランス

- ◎ 解答は別紙の解答用紙に記入しなさい。
- ◎ 字数制限のある解答は、句読点や記号「・」「()」などを一字と数えます。
- ◎ 設問の都合により原文を一部、改めたところがあります。

考 査 番 号

三、次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「ささめ」は小学校の給食の男性臨時調理員で、上司から今年度限りで仕事の契約終了を迫られている。次に続くのは、「ささめ」と二学期が終わった後東京から祖母の住む福岡に転校する小学三年生「吉田陽」とのやり取りである。

「いいな、福岡」

努めて明るい声で言うと、陽の顔を隠した前髪が揺れた。

「なんでもいいの」

「うまいモンがいっぱいあるしさ」

①「おれ子どもだもん」

「……おばあちゃんのご飯はおいしいでしょ？」

陽は応えない。②何かいいことを言わなければと必死で考える。

「新しい学校でさ、友だちも増えるし、可愛い女の子もいるかもしれないし」

明るく言って肩にかけた手をふり払われた。

「……ささめはさびしくないの」

陽がキッと振り向いた。こちらを睨みつける瞳から、なみだが

「ささめはおれがいなくなってもさびしくないの!」

顔をくしゃくしゃにして陽が泣く。まだ子どもなのだ。気づかいや③建前など分らない。心にあることをちゃんとと言ってやらないとダメなのだ。

「……寂しい」

陽が顔を上げた。

「陽の新しい旅立ちなのに、寂しいとか言っちゃいけないかな、って思ったから」

「ほんとに？」

泣いているせいで鼻声だ。

「本当」

しゃくり上げる陽が落ち着いて何か言うのを待った。陽の言うことを聞いて、そして返してやらなければならない。そうやって受け止めては返して、心を突く苦しみの④角が、こすれて丸く削られていくのを待つしかないのだ。

陽はようやく落ち着いた様子で「ディジュンとっで」と鼻声で言った。取ってやると次は「りんごたべる」と口を開けた。

小さく切った口に入れてやった。

「……やだなあ」

陽はりんごを食べながら、

「……行きたくないか」

「……行きたくない」

「……行きたくない」

「……行きたくない」

口が再び閉じてしまった。陽は、友だちや先生たちと別れ、両親という心の支えもなく、たった一人で新しい世界にいかなければならないのだ。新しい学校を実際に見るまでの日々は、きつと不安でいっぱいだろう。

その日々を少しでも明るくしてやりたい。

「陽、学校給食コンテストのaジュンビ、手伝ってよ」

「陽、学校給食コンテストのaジュンビ、手伝ってよ」

「陽、学校給食コンテストのaジュンビ、手伝ってよ」

⑤思いついて口にする、「なにそれ」と返ってきた。コンテストの予選と本選のことを説明してやると、陽の目に再び涙

- ◎ 解答は別紙の解答用紙に記入しなさい。
- ◎ 字数制限のある解答は、句読点や記号「・」「()」などを一字と数えます。
- ◎ 設問の都合により原文を一部、改めたところがあります。

考 査 番 号

が浮かんだ。

「おれコンテストに出られないもん。二学期が終わった日におばあちゃんと福岡に行くんだもん」

「じゃあ、予選だけでも手伝ってよ。予選は再来週だし、陽はきつと給食に一番詳しいから、いろいろ意見を聴きたいんだ」

陽が「ほんと？」と少し明るい声を出した。あとbヒトイギだ。

「俺たちのメニューがcユウショウしたら、全国の給食に出るんだよ? 陽も新しい学校で、俺たちのメニューが食べられるよ。それで、陽も一緒に考えたんだよ、って自慢できるでしょ」

「そうだ!」

陽の表情が

C 明るくなった。今は、自分の居場所を去って新しい世界へ行く陽の心細さが、誰よりもよく分かってやれる。陽と一緒に自分の気持ちもdスクおうとしていた。

問一 線a dのカタカナを漢字に直しなさい。

問二 線①「おれ子どもだもん」という言葉にはどのような気持ちが表れていますか。次の中から最も適当なものを選び、記号で答えなさい。

ア おれは大人の「ささめ」とは話したくない

イ おれにはお母さんの料理が一番だ

ウ おれにはうまいモンの価値がわからない

エ おれはたくさん食べられない

問三 線②「何かいいことを言わなければと必死で考える」とありますが、ここには「ささめ」の「陽」に対するどのような思いが表れていますか。本文中から五字以内でぬき出して答えなさい。

問四 A Cにあてはまる語句をそれぞれ次の中から選び、記号で答えなさい。

A ア ほそぼそと

イ いじわつと

ウ だらだらと

エ ぼろぼろと

B ア ゆっくりと

イ ぼつりと

ウ こつそりと

エ はつきりと

C ア しだいに

イ すこし

ウ パツと

エ 一転して

問五 線③「建前」の意味として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

A 難しいこと

イ 表向きなこと

ウ 楽しいこと

エ おもしろいこと

問六 線④「角が、こすれて丸く削られていく」とはどういうことですか。次の中から最も適当なものをを選び、記号で答えなさい。

A 厚みが増していく

イ 硬くとかたくなっていく

ウ 和らいでいく

エ 薄っぺらくなっていく

問七 線⑤「思いついて」とありますが「ささめ」はなぜこのようなことを思いついたのですか。本文中の言葉を使って「から」に続くように、三十字以内で答えなさい。

平成二十九年 度 中学校前期（午前） 入学 考 査 問 題

国 語（その六）

- ◎ 解答は別紙の解信用紙に記入しなさい。
◎ 字数制限のある解答は、句読点や記号「 」（ ）などを一字と数えます。
◎ 設問の都合により原文を一部、改めたところがあります。

考 査 番 号

四、次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

今日、春一番が吹きました――。

立春後、一番はじめに吹く強い南風が「春一番」です。この春一番のニュースで、日本じゅうとんと背中をたたかれて、

① あわただしく新しい季節に入っていくような気分になせられます。しばしば雨をともなつて海を荒らすことの多い風を最初にそう呼んだのは、能登や香岐の a リョウシたちだといわれますが、いまではもともよくしられた春の言葉となつて日常に b デイチヤクしきつたといえるでしょう。

春一番から木の芽がほころび、春二番から花が咲くなどといわれつつ、春は深まってゆきますが、ある年代の人たちには、春風といえば菅原道真の「* 東風ふかばにほひおこせよ梅の花あるじなしとて春を忘るな」がまず思いだされるかもしれません。「東風」は東から吹く風でとくに初春の風をさして使われました。

立春の風が氷をとかし、やがて梅の香りを運び、あるいは桜を散らすといったぐあいに、平安貴族の春の * 風雅はまさに風とともにあつたとさえいえるかもしれません。風に ② 暖かさと匂いと美をいっばいに感じてこころを動かしています。

（中略）

春一番をはじめとして、しばしば吹く春の強風や突風は「春風」、逆に眠気をさそうほどのおだやかな風が吹いているのを「春風駘蕩」などともいいますが、なかでも春風についての c インシヨウ的な表現に「B」があります。太陽の光も増して、木の芽や花や水に風が吹きわたると万物きらきら輝くので、この季節の風を「B」と表現するのです。③ 自然の恵みそのもののような風を、色や匂いや d ケハイでゆつくりと全身で感じているこの言葉は、春一番という言葉にはなぜかせつかに反応しながら、そののちの本格的な春風を感じる余裕をなくしてしまっているような、現代の日常を思いおこさせます。

（米川千嘉子『四季のことば100話』）

* 「東風ふかば」の歌……「春の東風がふいたなら風にのせて梅よ、なつかしいその香りを私のいる筑紫（現在の北九州）の地まで送っておくれ、主人がいないからといって花の咲く春を忘れるな」の意味

* 「風雅」……優美な味わい

問一 線 a～d のカタカナを漢字に直しなさい。

問二 線①「あわただしく新しい季節に入っていくような気分」とほぼ同じことを表している言葉を、本文の（中略）よりあとの文章から五字以内でぬき出して答えなさい。

問三 線②「暖かさと匂いと美」を具体的に表した箇所を二十五字以上三十字以内でぬき出し、はじめと終わりの五字ずつを答えなさい。

問四 B（二箇所）には同じ言葉が入ります。もつとも適当な言葉を次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 風ゆるむ イ 風かおる ウ 風温む エ 風光る

問五 線③「自然の恵みそのもののような風」とありますが、そのように言える理由がわかる箇所を、本文中より「くから」に続くように二十五字以内でぬき出して答えなさい。